

## タイ大学統一入試問題日本語科目 (PAT 7.3) の語彙調査 ——日本語能力試験 (JLPT) N4 との比較——

香山恆毅

### 1. はじめに

本稿は、タイの大学入試問題日本語科目である PAT 7.3 (以下、PAT、と記す) の語彙と、日本語能力試験 (以下、JLPT、と記す) の語彙とを見比べて、PAT の語彙の傾向を示す。タイで行われる大規模日本語テストは、PAT および JLPT がある。PAT の受験者数は、2009 年に行われた 3 回分の合計が 18,288 人であった<sup>(1)</sup>。一方、JLPT のタイの受験者数は、2012 年に行われた 2 回分の合計が 16,782 人であった<sup>(2)</sup>。ブッサバー他 (2005) によると、PAT のレベルは JLPT 旧試験 (2009 年以前) の 3 級程度であると思われる。しかし、実際の PAT の内容が、実際の JLPT 旧試験 3 級ならびに現行試験 N4 (以下合わせて、N4、と記す<sup>(3)</sup>) と同程度であるかや、PAT にどのような傾向があるかは、あまり調査されていないようである。

そこで本稿は、PAT および N4 の名詞、動詞、イ形容詞、ナ形容詞、副詞を調査し、PAT の語彙にどのような傾向があるのかを、N4 の語彙と見比べて示す。一次資料として用いるのは、実際の PAT の 5 回分、および実際の JLPT 旧試験 3 級などの 12 回分である。

本稿の構成は次の通りである。まず 2 章では、語彙調査ならびに PAT の先行研究を見る。3 章では、本稿で用いたデータの概要と調査方法を示す。4 章では、調査結果を示しながら PAT と N4 の語彙を見比べる。最後に 5 章では、本調査で得られた PAT の語彙の傾向をまとめる。

### 2. 先行研究

日本語教育における語彙は、主に 2 つの目的で調査、研究されている。1 つはテスト開発という目的である。押尾・秋元他 (2008) は、JLPT 現行試験 (2010 年以後) の語彙表作成作業について報告している。池田 (1996) は、JETRO ビジネス日本語認定試験の開発資料などを調査している。

もう 1 つの目的は、専門分野の教育内容の確立である。村岡・柳 (1995) は、農学系学術雑誌の語彙について報告している。野村・川村他 (2011) は、介護福祉士国家試験の語彙を調査することにより、学習者の効率的な自己学習を目指している。

PAT に関する研究は、読解問題を分析した鈴木・内田 (2005)、助詞の設問に対する回答の傾向を分析した ปภวณី (2006) などがある。また書籍は、過去の問題を集めて解き方を示したものなどがある (ปภวณី 他 2010, สุภา 2010a, สุภา 2010b, พรหมเทพ 2011)。ウオラウト (2001) は、1999 年のタイの大学入試問題作成方法について触れ、「高等学校の日本語は大学入学試験問題の傾向に

も影響を受ける」(p.110)と述べている。香山(2012)は、タイの高校生向け日本語教科書『日本語 あきこと友だち』が<sup>(4)</sup>、PATの語彙、文法、漢字をどの程度カバーしているかを報告している。しかし、PATの単語の出現回数を調べたり、PATの傾向を述べるには至っていない。

本調査は、野村・川村他(2011)がテストの語彙を調べたのと同様に、PATの単語一つひとつの出現回数を調べ、PATの傾向を述べる。調べた結果は、村岡・柳(1995)と池田(1996)を参考に、語彙表にして示す。見比べる対象は、JLPTのN4の語彙である。理由は、PATもN4も、ある一定のレベルに達していることを測定することが目的であり、レベルも同程度と考えられるからである。

### 3. 調査方法

#### 3.1 データの概要

本稿でデータとして用いるのは、PATならびにN4に関する下の3種類の一次資料を筆者が電子化したデータである。

(ア) รหัสวิชา 79 ความถนัดทางภาษาญี่ปุ่น (PAT 7.3). สถาบันทดสอบทางการศึกษาแห่งชาติ(องค์การมหาชน).

2009年から2011年までに実施された試験のうち5回分<sup>(5)</sup>。

(イ) 『日本語能力試験 公式問題集 N4』国際交流基金・日本国際教育支援協会(著・編)(2012)<sup>(6)</sup>。

(ウ) 『日本語能力試験 3・4級試験問題と正解』日本国際教育支援協会<sup>(7)</sup>・国際交流基金(著・編)。1998年度から2008年度までに実施された3級試験の11回分<sup>(8)</sup>。

PATの調査対象は、(ア)の全ての設問とする。N4の調査対象は、(イ)および(ウ)の次の部分とする。(イ)の「N4言語知識(文字・語彙)」および「N4言語知識(文法)・読解」の設問、そして(ウ)の「3級文字・ごい」および「3級文法・読解」の設問である。

調査対象の部分は、PATならびにN4に共通して、次の部分とする。①文の空白部分に適切な選択肢を入れて完成文を作る設問は、正答と考えられる選択肢などを入れた完成文のみ。②読解設問は、読解文の本文、および本文の一部である図表のみ。③PATの日本文化に関する設問は、設問文および全選択肢。設問番号41から45までの設問である。④会話の話し手を示す記述は、記述が役職などの場合、発話一往復分の記述のみ。例えば「先生：」「学生：」「課長：」などである。⑤「つぎのことばのつかいかたでいちばんいいものを1・2・3・4から一つえらびなさい」という指示の設問は、正答の選択肢のみ。⑥「次の文・会話とおなじないものを一つえらびなさい」などの設問は、設問の「文・会話」部分のみ。⑦回答方法を指示している記述は対象に含めない。例えば「1. 2. 3. 4. から一番いいものを一つえらびなさい」などの記述である。⑧疑問詞、ならびに数字は調査対象に含めない。

また、資料の電子化では、できるだけ平仮名を漢字に換える。平仮名だけが続く文章は、コン

コンピューターの形態素解析プログラムが正しい分析結果を返しにくいからである(李他 2012)。漢字表記の具体例は、4章「結果」の表内で示す。

以上の原則に従い、PAT および N4 から、それぞれ約 28,000 字分のデータを収集した。表 1 に、データの文字数や試験時間などをまとめる。本稿の結果は、表 1 に示す一次資料から得た、約 56,000 字分(本稿書式で約 40 ページ分)、試験時間約 36 時間分のデータに基づくものである。

表1 対象データの文字数・試験時間など

	文字数 (字)	試験時間 (分)	試験時間 1分あたりの 文字数(字/分)	回数 (回分)	使用資料・試験実施年など
PAT	28,297	900	31.4	5	(ア) รหัสวิชา 79 ความถนัดทางภาษาญี่ปุ่น (PAT 7.3) の西暦2009 - 2011年(仏暦2552-2554年)実施分の一部
N4	27,590	1,245	22.2	12	(イ) 『日本語能力試験 公式問題集 N4』(2012)*1 (ウ) 『日本語能力試験3・4級試験問題と正解』の「3級」, 1998 - 2008年度実施分

\*1: (イ)の次の記述から、(イ)は試験1回分であると判断した。「試験問題は、今の試験1回分に相当する数で構成されています」(p.i)。また、(イ)だけの試験時間1分あたりの文字数は、32.8字である。

### 3.2 調査方法

本調査は、PAT および N4 の、名詞、動詞、イ形容詞、ナ形容詞、副詞を取り出し、出現回数を調査する。データの取り出しは、コンピューターで「KH Coder」と「MeCab」を用いておこなう<sup>(9)</sup><sup>(10)</sup>。KH Coder で分類されたデータは、筆者が分類結果を確かめ、必要に応じて分類を調整する。助数詞は、「Simple KWIC Lister」で検索して取り出す<sup>(11)</sup>。

上の方法で取り出され、分類された語から、出現回数が多い語(以下、頻出語、と記す)を選び、品詞別、出現回数別に語彙表にして示す。名詞は、JLPT 旧 4 級の語と、旧 3 級以上の語などに分けて示す。級別に語を仕分ける作業は、国際交流基金他(2002)を基におこなう。

頻出語を定める基準は、語を品詞別に出現回数が多い順に並べ、延べ語数に占める割合を累積したとき、累積割合の上位約 80%に含まれる語とする。約 80%という基準値は、国際交流基金他(2002)の次の記述を参考に定めた。「『語彙リスト』そのものが、当該級の語彙数の 80%を示すということになっている」(p.228)。基準値内の語は頻出すると考えた。

## 4. 結果

### 4.1 PAT の頻出語が全体に占める割合 — 異なり語数・延べ語数別

PAT は、異なり語の中の 42.0%の語が、PAT の延べ語数の 82.4%を占めていた。つまり、PAT の名詞、動詞、形容詞、副詞の 8 割以上を理解するためには、PAT に現れたこれらの品詞の約 4 割(417 語)を習得していればよいといえる(表 2 の A、c、h)。これら 417 語を PAT の頻出語と呼ぶ。表 2 に、頻出語が PAT 全体に占める割合を、異なり語数、延べ語数別に示す。

そして、表3にN4の集計結果を示す。N4は、異なり語の中の45.7%の語が(478語)、N4の延べ語数の83.5%を占めていた(表3のA、c、h)。これら478語をN4の頻出語と呼ぶ。

表2 PATの頻出語が全体に占める割合 — 異なり語数・述べ語数別

品詞	異なり語						延べ語					
	頻出語のみ				全体		頻出語のみ				全体	
	語の数 (語) a	合計に 占める 各品詞 の割合 b=a/A	最少 出現 回数 (回)	全体に 占める 割合 c=a/d	語の数 (語) d	合計に 占める 各品詞 の割合 e=d/D	語の数 (語) f	合計に 占める 各品詞 の割合 g=f/F	最少 出現 回数	全体に 占める 割合 h=f/i	語の数 (語) i	合計に 占める 各品詞 の割合 j=i/I
名詞	280	67.1%	3	<b>43.7%</b>	641	64.6%	2033	49.9%	同左	<b>81.1%</b>	2507	50.7%
動詞	65	15.6%	5	<b>31.9%</b>	204	20.6%	1330	32.6%	同左	<b>82.8%</b>	1606	32.5%
イ形容詞	30	7.2%	3	<b>54.5%</b>	55	5.5%	241	5.9%	同左	<b>87.3%</b>	276	5.6%
ナ形容詞	18	4.3%	3	<b>46.2%</b>	39	3.9%	132	3.2%	同左	<b>81.5%</b>	162	3.3%
副詞	24	5.8%	5	<b>45.3%</b>	53	5.3%	342	8.4%	同左	<b>85.9%</b>	398	8.0%
合計	A=417	100%	—	<b>42.0%</b>	D=992	100%	F=4078	100%	—	<b>82.4%</b>	I=4949	100%

表3 N4の頻出語が全体に占める割合 — 異なり語数・述べ語数別

品詞	異なり語						延べ語					
	頻出語のみ				全体		頻出語のみ				全体	
	語の数 (語) a	合計に 占める 各品詞 の割合 b=a/A	最少 出現 回数 (回)	全体に 占める 割合 c=a/d	語の数 (語) d	合計に 占める 各品詞 の割合 e=d/D	語の数 (語) f	合計に 占める 各品詞 の割合 g=f/F	最少 出現 回数	全体に 占める 割合 h=f/i	語の数 (語) i	合計に 占める 各品詞 の割合 j=i/I
名詞	308	64.4%	3	<b>48.7%</b>	632	60.4%	2446	51.9%	同左	<b>84.4%</b>	2897	51.3%
動詞	82	17.2%	5	<b>34.6%</b>	237	22.7%	1451	30.8%	同左	<b>81.7%</b>	1777	31.5%
イ形容詞	33	6.9%	4	<b>45.2%</b>	73	7.0%	345	7.3%	同左	<b>82.5%</b>	418	7.4%
ナ形容詞	26	5.4%	3	<b>59.1%</b>	44	4.2%	174	3.7%	同左	<b>87.4%</b>	199	3.5%
副詞	29	6.1%	4	<b>48.3%</b>	60	5.7%	294	6.2%	同左	<b>83.8%</b>	351	6.2%
合計	A=478	100%	—	<b>45.7%</b>	D=1046	100%	F=4710	100%	—	<b>83.5%</b>	I=5642	100%

表2 (PAT) と表3 (N4) を見比べて、PAT と N4 の異なり語数は、全体ではほぼ同数であるが、頻出語ではPAT が N4 より約1割少ないことが分かった。以下、3つの傾向を述べる。1. 全体異なり語数の合計は、PAT も N4 も約1,000語であり、ほぼ同数であった(表のD)。2. 頻出語の合計は、PAT は417語、N4 は478語であり、PAT はN4 より約1割少なかった(表のA)。3. 全体異なり語数における各品詞の割合は、PAT と N4 とは、どの品詞の出現割合も近い値を示した。いちばん出現割合が高い品詞は名詞で約6割、次は動詞で約2割、続いて、イ形容詞、副詞、ナ形容詞の順であった(表のe)。以上、3つの傾向を述べた。

次に、4.2項では、PAT と N4 の頻出語の実例を品詞別に一つひとつ見比べる。頻出語とは、4.1

項で述べたように、延べ語数の累積割合で上位約80%に含まれる語である。

## 4.2 品詞別 PAT の頻出語の傾向

### 4.2.1 PAT で頻出した名詞

PAT の頻出名詞は 280 語であった (表 2 の a)。これらの語を出現回数別に整理して表 4 にまとめる。PAT および N4 で頻出した語は明朝体で、PAT だけで頻出した語は、太ゴシック体で示す。出現回数範囲が同じ語の提示順序は、一番上に JLPT 旧 3 級の語、その下に級外の語、その下に旧 4 級の語という順である。それぞれ、漢字・ひらがな語、カタカナ語、助数詞の順番で、50 音順である。なお、表内の漢字表記は、一次資料の表記をデータ解析用に換えた後の表記である。( ) 内には適宜説明を書いた。また、N4 だけで頻出した名詞は表 5 にまとめる。

表4 PATで頻出した名詞 — 明朝体：PATおよびN4で頻出・太ゴシック体：PATだけで頻出

出現回数 (回)	頻出語：合計280語
30以上	<b>旧4級の語 (5語)</b> ：仕事 先生 時 (とき) 人 …時 (時刻)
20 - 29	<b>旧3級以上の語 (2語)</b> ：ごみ 日 (成人の日、など) <b>旧4級の語 (10語)</b> ：明日 今 今日 子供 写真 電話 友達 中 (鞆の中、など) 前 …月 (日付)
10 - 19	<b>旧3級以上の語 (5語)</b> ：会議 最近 <sup>*1</sup> 赤ちゃん 携帯 メール <b>旧4級の語 (37語)</b> ：後 (あと) 雨 家 一緒 映画 お母さん お金 お願い 会社 学生 学校 漢字 昨日 今度 魚 時間 電車 名前 日本語 母 部屋 勉強 店 来週 料理 テレビ バス …位 (くらい) …時間 …達 …日 (日付) …人 (人数) …番 …年 (日付) <sup>*1</sup> 日本人 …才 (さい) …年 (年数)
3 - 10	<b>旧3級以上の語 (84語)</b> ：安心 <sup>*2</sup> 一度 一生懸命 <sup>*2</sup> 音 帰り 字 試合 社長 食事 間 (あいだ) あと (あと10分、など) 気持ち 怪我 (けが) 子 最後 事故 準備 生活 説明 相談 返事 祭り 約束 連絡 コンサート プレゼント …日 (日数など) …方 (使い方、など) <sup>*1</sup> 味 案内 馬 売場 お正月 お寺 多く 課長 関係 きまり 着物 客 工場 合格 答 この間 刺身 小学生 地震 失礼 将来 女性 書類 人生 心配 <sup>*2</sup> 成人 祖父 楽しみ <sup>*2</sup> 男性 月 久しぶり 袋 部長 盆踊り 孫 味噌 味噌汁 見舞い 土産 (みやげ) 昔 用事 予定 留学 量 クラブ コンピューター スーパー スープ チェック パソコン プラスチック ポケット ミルク …間 (4年間、など) …式 (結婚式、など) …代 (10代、など) …年生 …目 (二番目、など) <b>級外の語 (11語)</b> ：社員 寿司 林檎 (りんご) エアコン カラオケ ジュース チケット チョコレート バレンタインデー パンダ ホワイトデー マグロ ラーメン DVD <b>旧4級の語 (126語)</b> ：朝 兄 医者 犬 意味 妹 うち 海 絵 英語 お父さん お腹 (おなか) 音楽 外国 買い物 傘 風邪 家族 紙 体 金曜日 葉 国 車 今朝 結婚 月曜日 公園 声 午後 午前 言葉 ご飯 財布 酒 散歩 辞書 質問 自分 授業 宿題 新聞 先週 全部 掃除 外 (そと) 大学 近く 父 手紙 天気 電気 時計 図書館 隣 土曜日 夏 夏休み 花 話 晩 病気 昼 服 他 (ほか) 本 毎日 町 道 野菜 休み 雪 夜 両親 旅行 冷蔵庫 練習 カメラ コーヒー シャツ テスト デパート ドア パーティー ホテル レストラン …階 …回 …か月 (月数) …週間 …中 (会議中、など) …つ …分 <sup>*1</sup> お菓子 おじいさん 男の子 大人 おばあさん 女の子 外国人 川 雑誌 砂糖 生徒 卵 誕生日 猫 半分 本当 毎晩 眼鏡 (めがね) 問題 洋服 来月 クラス コピー セーター ネクタイ ペン …頃 …枚

\*1：太ゴシック体の合計107語は、PATだけで頻出した語である。N4での出現回数は2回以下であった。

\*2：これらの語は、ナ形容詞に分類されることもある。本稿では、PATでの用法を確かめて、名詞に分類した。

表 4 (PAT) と表 5 (N4) を見比べて、PAT の頻出名詞の中に、N4 では頻出しない名詞が約 4

割あることが分かった。これらの名詞は、表 4 の太ゴシック体の 107 語である。4.1 節で、PAT と N4 の頻出語数の違いが約 1 割であったと述べた。しかし、頻出した名詞の実例を一つひとつ確かめると、PAT の頻出名詞の約 4 割は、N4 の頻出名詞とは異なっていた。

表5 N4だけで頻出した名詞 — PATでは頻出しない名詞

出現回数 (回)	頻出語：合計135語
10 - 20	<b>旧3級以上の語 (3語)</b> ：運動 注意 予約 <b>旧4級の語 (11語)</b> ：駅 弟 教室 靴 自転車 荷物 病院 窓 山 アパート スポーツ
4 - 9	<b>旧3級以上の語 (58語)</b> ：挨拶 意見 田舎 受付 代わり 機械 空港 経験 景色 研究 高校 故障 米 さっき 皿 試験 失敗 事務所 住所 出発 趣味 小説 神社 水泳 背 世界 世話 卒業 台風 暖房 力 遅刻 中止 手伝い 店員 遠く 人形 熱 場所 美術館 昼間 船 文 周り 漫画 湖 虫 息子 利用 歴史 アルバイト ケーキ ゲーム テニス ビル ルール レポート …室 <b>級外の語 (2語)</b> ：サッカー バスケットボール <b>旧4級の語 (61語)</b> ：秋 足 頭 姉 椅子 入口 色 上 歌 お客様 奥さん お茶 顔 風 靴 木 去年 銀行 今年 今晚 先 洗濯 そば 空 建物 煙草 食べ物 誕生 動物 鳥 肉 歯 初め 番号 飛行機 暇 冬 風呂 (ふる) 辺 (へん) 本屋 毎朝 毎月 右 水 目 夕方 郵便 タベ 来年 カレンダー ギター テープ テーブル ナイフ パン プール ベット 日曜日 火曜日 水曜日 …万

#### 4.2.2 PAT で頻出した動詞

PAT の頻出動詞は、65 語であった (表 2 の a)。これらの動詞の実例を、名詞と同じ要領で表 6 に示す。そして、N4 だけで頻出した動詞 (33 語) を表 7 に示す。JLPT 級別の表示は省略する。

表6 PATで頻出した動詞 — 明朝体：PATおよびN4で頻出・太ゴシック体：PATだけで頻出

出現回数 (回)	頻出語：合計65語
30以上	ある 行く 思う 買う 帰る 来る する 食べる 使う できる なる 見る 分かる
20 - 29	言う 居る (いる) 書く 持つ
10 - 19	遊ぶ 遅れる 教える 終わる 聞く 出す 作る 出る 撮る 寝る 飲む 入る 話す 休む 読む <b>*1 入れる 着る 減る</b>
5 - 9	いらっしゃる 置く 行う 掛かる 貸す 借りる 困る 知る 疲れる 出掛ける 乗る 働く 降る 待つ もらう やる 忘れる <b>*1 会う 集まる 生まれる 覚える 飾る 頑張る 壊れる 立つ 手伝う 獲る (とる) 増える 見せる 分ける</b>

\*1 太ゴシック体の16語は、PATだけで頻出した語である。N4での出現回数は4回以下であった。

表7 N4だけで頻出した動詞 — PATでは頻出しない動詞

出現回数 (回)	頻出語：33語
10 - 12	起きる 着く (つく) 見える
5 - 9	開ける 洗う 歩く 急ぐ いる (要る) 動く 歌う 送る 泳ぐ 構う (構わない) 通う 考える 切る 気を付ける 混む 調べる 死ぬ 座る 付ける 連れる 泣く 習う 履く 始まる 始める 走る 間に合う やめる 汚れる 喜ぶ

#### 4.2.3 PAT で頻出したイ形容詞・ナ形容詞

PAT で頻出したイ形容詞は 30 語、ナ形容詞は 18 語であった (表 2 の a)。実例を、前項までと同様に表 8 に示す。ナ形容詞は語幹の形で示す。また、表 9 に、N4 だけで頻出した語を示す。

表8 PATで頻出したイ・ナ形容詞 — 明朝体：PATおよびN4で頻出・太ゴシック体：PATだけで頻出

出現回数 (回)	イ形容詞の頻出語：合計30語	ナ形容詞の頻出語：合計18語
20以上	いい	元気
10 - 19	新しい おいしい 大きい ない	きれい 好き 大丈夫 大変
4 - 9 *1	忙しい 痛い 多い 遅い 面白い かわいい 寒い 高い 楽しい 小さい 早い 広い 古い 欲しい 難しい 安い 悪い *2 赤い 温かい 甘い 親しい 少ない 素晴らしい 短い 申し訳ない	色々 急 上手 親切 大事 大切 駄目 便利 無理 有名 *2 残念 大好き 得意

\*1：ナ形容詞は「3 - 9」

\*2：太ゴシック体のイ形容詞8語と、ナ形容詞3語は、PATだけで頻出した語である。N4での出現回数は、イ形容詞は3回以下、ナ形容詞は2回以下であった。

表9 N4だけで頻出したイ・ナ形容詞 — PATでは頻出しないイ・ナ形容詞

出現回数 (回)	イ形容詞の頻出語：11語	ナ形容詞の頻出語：11語
4以上 *1	青い 明るい 危ない 美しい うまい 重い 暗い 寂しい 近い 強い 眠い	安全 簡単 危険 盛ん 静か 邪魔 十分 特別 熱心 不便 変 (へん)

\*1：ナ形容詞は「3以上」

#### 4.2.4 PATで頻出した副詞

PATの頻出副詞は、24語であった(表2のa)。これらを前項までと同様に表10に示す。また、N4だけで頻出した副詞は、次の10語であった。「必ず」「きっと」「ずっと」「是非」「そろそろ」「多分」「時々」「ほとんど」「やっと」「ゆっくり」。

表10 PATで頻出した副詞 — 明朝体：PATおよびN4で頻出・太ゴシック体：PATだけで頻出

出現回数 (回)	頻出語：合計24語
20以上	そう たくさん ちょっと とても まだ よく
10 - 19	あまり これから すぐ 少し どうぞ もう (もう決めました、など)
5 - 9	いつも 初めて もう (もう一度、など) もっと 色々 なかなか 本当に *1 だいたい 特に まず もうすぐ よろしく

\*1 太ゴシック体の5語は、PATだけで頻出した語である。N4での出現回数は3回以下であった。

#### 4.2.5 PATだけの頻出語・PATとN4で共通の頻出語・N4だけの頻出語

ここまで、PATとN4の頻出語の実例を品詞別に一つひとつ示し、違いを述べた。例えばPATの頻出名詞は、その約4割がN4の頻出名詞とは異なっていた。この分析を、動詞、イ形容詞、ナ形容詞、副詞についてもおこなう。表11に3項目、すなわち、PATだけで頻出した語、PATとN4で共通して頻出した語、N4だけで頻出した語、この3項目の語数と割合を品詞別に示す。

表11から、PATとN4とで共通する頻出語の合計は278語であり、これらはPATの頻出語の約7割(表11のb1の66.7%)であることが分かった。残りの約3割である139語は(表11のa、A)、PATだけの頻出語であった。つまり、頻出語の数だけを見ると、PATとN4の差は約1割であったが(4.1節)、一つひとつの語を確かめると、PATの頻出語の約3割はN4の頻出語とは異なる語であった。

表11 PATだけの頻出語・PATとN4で共通の頻出語・N4だけの頻出語

品詞	PATだけの 頻出語 (語) A	PATの頻出語 に占める…		PATとN4で 共通の 頻出語 (語) B	N4の頻出語 に占める…		N4だけの 頻出語 (語) C
		PATだけの 頻出語の 割合 a=A/(A+B)	N4と共通の 頻出語の 割合 b1=B/(A+B)		PATと共通の 頻出語の 割合 b2=B/(C+B)	N4だけの 頻出語の 割合 c=C/(C+B)	
名詞	107	38.2%	61.8%	173	56.2%	43.8%	135
動詞	16	24.6%	75.4%	49	59.8%	40.2%	33
イ形容詞	8	26.7%	73.3%	22	66.7%	33.3%	11
ナ形容詞	3	16.7%	83.3%	15	57.7%	42.3%	11
副詞	5	20.8%	79.2%	19	65.5%	34.5%	10
合計	139	33.3%	66.7%	278	58.2%	41.8%	200

## 5. まとめ

本稿は PAT と JLPT の N4 を見比べ、PAT の語彙の傾向を示した。分析では、出現回数が多く、延べ語数の 8 割以上を占める語を「頻出語」と定義した。得られた主な傾向を下にまとめる。

〈傾向 1〉異なり語数は、PAT も N4 も約 1,000 語であった。

〈傾向 2〉PAT の頻出語は、異なり語の中の約 4 割の語であった。

〈傾向 3〉PAT の頻出語数は、N4 より約 1 割少なかった。PAT は 417 語、N4 は 478 語であった。

〈傾向 4〉PAT の頻出語の中の約 7 割は N4 でも頻出し、残りの約 3 割は PAT だけで頻出した。

最後に本稿の限界を述べる。まず、「コーパスを検索した結果は必ずしも日本語総体の特徴を示しているとは限らない」(砂川 2011:15)。そして、本調査のデータは、コーパスと呼べるほど大きなデータではない。従って、本調査で得られた傾向が、PAT および N4 の特徴を示しているとは限らない。さらに、村岡・柳 (1995) の語彙調査では、「著者の文体の個性が顕著に現れていると考えられる」(p.88) と述べている。PAT も試験作成者の個性や、タイ社会がもつ日本観などが現れるであろう。学習者がこれらのことを気にとめて、本稿を活用してくれれば幸いである。

## 注

- (1) 参考文献の、สถาบันทดสอบทางการศึกษาแห่งชาติ(องค์การมหาชน) (2010) を参照した。
- (2) 参考文献の、国際交流基金「日本語能力試験 過去の試験データ」を参照した。
- (3) 参考文献の、国際交流基金「日本語能力試験 旧試験との比較」によると、JLPT 旧試験 3 級は、現行の N4 とほぼ同じレベルである。
- (4) 『日本語 あきこと友だち (ภาษาญี่ปุ่น อะกิโกะโตะโทะโมะตะจิ)』 นุชบา บรรจงมณี, วันชัย สีสพัทธ์กุล, วรุณี จิราสมบัติ, ภาวดี อึ้งขจร, เบญจลักษณ์ สว่างเนตร, พัทนี ปิ่นท้วม, สุพรรณิ จีรบรรเทา, ดวงใจ จงธนากร, นิภาพรณ อุดลย์กิตติชัย, ประภา แสงทองสุข และ Aki IMAEDA.(2004) กรุงเทพฯ: คิโนะคุนิยะ บั๊คส์ไตร์

- (5) รหัสวิชา 79 ความถนัดทางภาษาญี่ปุ่น (PAT 7.3). สถาบันทดสอบทางการศึกษาแห่งชาติ(องค์การมหาชน).  
<<http://www.niets.or.th/>> (2012年1月7日), 本稿の調査対象は、下の試験日の試験である。  
1) 仏暦 2554 (西暦 2011)年 3月 8日 2) 2553(2010)年 10月 12日 3) 2553(2010)年 3月 9日  
4) 2552(2009)年 7月 19日 5) 2552(2009)年 3月 15日
- (6) 『日本語能力試験 公式問題集 N4』国際交流基金・日本国際教育支援協会(著・編)(2012)  
凡人社
- (7) 1998年度から2002年度実施分では、「日本国際教育協会」である。
- (8) 『日本語能力試験3・4級試験問題と正解』日本国際教育支援協会<sup>(7)</sup>・国際交流基金(著・編)  
凡人社, 本稿の調査対象は、下の試験年度の試験である。出版年は試験年度の翌年である。  
1) 平成20年度(西暦2008年度) 2) 19年度(2007年度) 3) 18年度(2006年度)  
4) 17年度(2005年度) 5) 16年度(2004年度) 6) 15年度(2003年度)  
7) 14年度(2002年度) 8) 13年度(2001年度) 9) 12年度(2000年度)  
10) 11年度(1999年度) 11) 10年度(1998年度)
- (9) KHCoder: 計量テキスト分析。樋口耕一氏作<<http://khc.sourceforge.net>> (2014年1月16日)
- (10) MeCab: 形態素解析。京都大学情報学研究科, 日本電信電話株式会社コミュニケーション科学  
基礎研究所<<http://mecab.googlecode.com/svn/trunk/mecab/doc/index.html>> (2014年1月17日)
- (11) 秋澤委太郎氏作<[http://www.iucjapan.org/pdf/nenpou2012\\_Akizawa1.pdf](http://www.iucjapan.org/pdf/nenpou2012_Akizawa1.pdf)> (2014年1月16日)

## 参考文献

- 池田伸子(1996)「日本人ビジネスマンの話し言葉における語彙調査—ビジネスマン用日本語教育システム開発の基礎として—」『日本語教育』88号、日本語教育学会、pp.117-127
- ウォラウト チラソンバット(2001)「タイの言語政策—日本語教育の場合—」『世界の日本語教育〈日本語教育事情報告編〉』6、国際交流基金、pp.105-114
- 押尾和美・秋元美晴・武田明子・阿部洋子・高梨美穂・柳澤好昭・石毛順子(2008)「新しい日本語能力試験のための語彙表作成にむけて」『国際交流基金日本語教育紀要』第4号、国際交流基金、pp.71-86
- 香山恆毅(2012)「タイ大学統一入試問題日本語科目と高校生向け日本語教科書の比較」『国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀要』第9号、国際交流基金バンコク日本文化センター、pp.79-88
- 国際交流基金・日本国際教育支援協会(著・編)(2002)『日本語能力試験 出題基準(改訂版)』凡人社
- 鈴木由美子・内田陽子(2005)「タイ国大学入学試験問題(日本語)における読解問題の分析」、『国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀要』第5号、国際交流基金バンコク日

本文化センター、pp.195-203

砂川有里子 (2011) 「日本語教育へのコーパスの活用に向けて」『日本語教育』150号、日本語教育学会、pp.4-18

国際交流基金・日本国際教育支援協会「日本語能力試験 旧試験との比較」, 「日本語能力試験 過去の試験データ」『日本語能力試験 JLPT』 <<http://www.jlpt.jp/about/comparison.html>>, <<http://www.jlpt.jp/statistics/archive.html>> (2014年1月2日)

野村愛・川村よし子・斉木美紀・金庭久美子 (2011) 「単語難易度と出題頻度に配慮した介護福祉士候補生のための語彙リスト作成」『日本語教育方法研究会誌』日本語教育方法研究会、pp.12-13  
ブッサバー・バンチョンマニー・今枝亜紀・プラパー・セーントーンスック (2005) 「タイの中等教育用日本語教科書作成プロジェクト」『国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀要』第2号、国際交流基金バンコク日本文化センター、pp.147-156

村岡貴子・柳智博 (1995) 「農学系学術雑誌の語彙調査—専門分野別日本語教育の観点から—」『日本語教育』85号、日本語教育学会、pp.80-89

李在鎬・石川慎一郎・砂川有里子 (2012) 「第7章 教材コーパスの活用—形態素解析—」『日本語教育のためのコーパス調査入門』くろしお出版、pp.94-110

ปราณี จงสุจริตธรรม.(2006) คำช่วยที่เป็นปัญหาสำหรับผู้สอบคัดเลือกบุคคลเข้าศึกษาต่อในสถาบันอุดมศึกษา. วารสารเจแปนฟาวน์เดชั่น กรุงเทพฯ ฉบับที่ 3. กรุงเทพฯ: เจแปนฟาวน์เดชั่น กรุงเทพฯ. pp.53-64.

ปราณี จงสุจริตธรรม, ผกาทิพย์ สกุลครุ และสุชาดา สัตยพงศ์.(2010) เฉลยข้อสอบเข้ามหาวิทยาลัย วิชาภาษาญี่ปุ่น ฉบับสมบูรณ์ ตุลาคม 2541 - มีนาคม 2548. กรุงเทพฯ: ดวงกลมสมัย.

พรหมเทพ ชัยกิตติวินิชย์.(2011) คู่มือเตรียมสอบ PAT และสอบวัดระดับภาษาญี่ปุ่น. กรุงเทพฯ: I Love CU Publishing.

สถาบันทดสอบทางการศึกษาแห่งชาติ(องค์การมหาชน).(2010) การวิเคราะห์คุณภาพของแบบสอบความถนัดทั่วไป (GAT) และความถนัดทางวิชาการและวิชาชีพ(PAT) ของการสอบครั้งที่ 1/2552 (ตุลาคม 2552), 2/2552 (ตุลาคม 2552), 3/2552 (ตุลาคม 2552). <[http://www.niets.or.th/index.php/research\\_th/view/13](http://www.niets.or.th/index.php/research_th/view/13)> (2014年1月14日)

สุภา ปัทมานันท์.(2010a) รวมข้อสอบ ภาษาญี่ปุ่น ชุดไวยากรณ์. กรุงเทพฯ: โรงพิมพ์แห่งจุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย

สุภา ปัทมานันท์.(2010b) รวมข้อสอบ ภาษาญี่ปุ่น ชุดการอ่าน. กรุงเทพฯ: โรงพิมพ์แห่งจุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย

付記

This research is supported by the Ratchadaphiseksomphot Endowment Fund of Chulalongkorn University (RES560530179-HS).